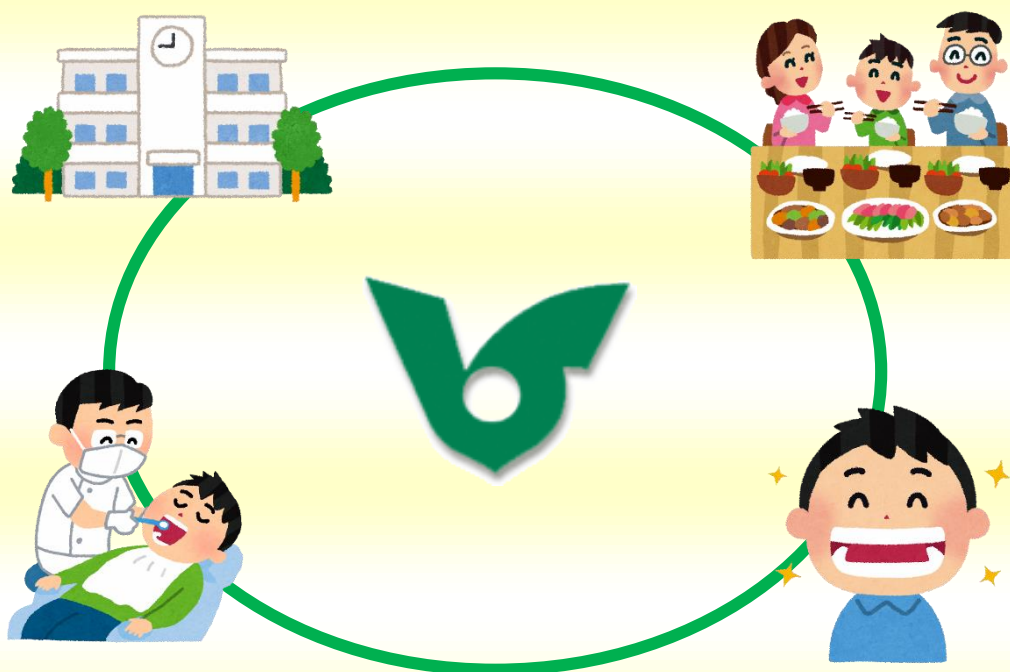


武蔵村山市第四次学齡期における歯の 健康づくり推進プラン

～むし歯ゼロプラン～

(令和6年度～令和10年度)



令和6年3月
武蔵村山市教育委員会



目次

第1章 プラン策定の趣旨について

- 1 計画策定の背景と目的（子供と歯を取り巻く環境など）…………… 1
- 2 計画の位置付け（市の各種計画との整合）…………… 2
- 3 計画の期間…………… 2
- 4 計画の目標…………… 3

第2章 これまでの武蔵村山市の取組について

- 1 教育委員会の取組事例紹介…………… 4
- 2 歯科医師会の取組事例紹介…………… 4
- 3 未就学児に対しての取組事例紹介…………… 5
- 4 小・中学校の取組事例紹介…………… 5

第3章 現状及び課題について

- 1 統計から見る現状…………… 7
- 2 アンケート結果から見る現状…………… 10
- 3 現状から見えてくる課題…………… 16

第4章 数値目標及び取り組むべき施策について

- 1 数値目標…………… 18
- 2 取り組むべき施策…………… 18
- 3 重点的に取り組むべき施策…………… 21

資料編

- 1 武蔵村山市の中学1年生の1人平均むし歯数の推移…………… 25
- 2 定期健診（歯科）における学校別むし歯率の推移（小学校）…………… 26
- 3 定期健診（歯科）における学校別むし歯率の推移（中学校）…………… 28
- 4 武蔵村山市のむし歯のある1歳6か月児・2歳児・3歳児の割合…………… 29
- 5 アンケート概要…………… 30
- 6 「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」応募状況…………… 31

第1章 プラン策定の趣旨について

1 計画策定の背景と目的（子供と歯を取り巻く環境など）

子供が心身ともに健やかに育つことは、社会全体の願いであり、わが国の将来を見据える上で、健康づくりを進めていくことが重要です。そして、健康は、人が自己実現を図るための資源であると同時に、人と人の集まりである社会全体が活力を生み出していくための資源でもあります。

学校は、心身の発育・発達の段階にある子供が、教育を通じて人格を形成していく場であると同時に、健康づくりの基礎的な素養が培われる重要な場でもあります。

人の生涯にわたる健康づくりは、乳児期のように自らの健康がおおむね保護者の手に委ねられ管理されている「他律的健康づくり」の時期から、幼児期、学齢期を経験して、成人期以降の自らの思考・判断による意思決定や行動選択による「自律的健康づくり」へと移行していかなければなりません。

歯と口の健康づくりは、鏡を見れば自分で観察することができ、また、食生活を整えることや正しいブラッシング等によりむし歯のない歯を維持することができるため、自律的な取組の結果が自分自身で実感できます。

学齢期は健康課題を自律的に解決することを学ぶ大切な時期であります。

そこで、教育委員会では、武蔵村山市歯科医師会や学校など関係機関と連携して「むし歯のない子供たち」を増やすために、平成31年度から令和5年度までを計画期間とする「第三次学齢期における歯の健康づくり推進プラン」を策定し、給食後の歯磨きの実施など新たな施策に取り組んできました。

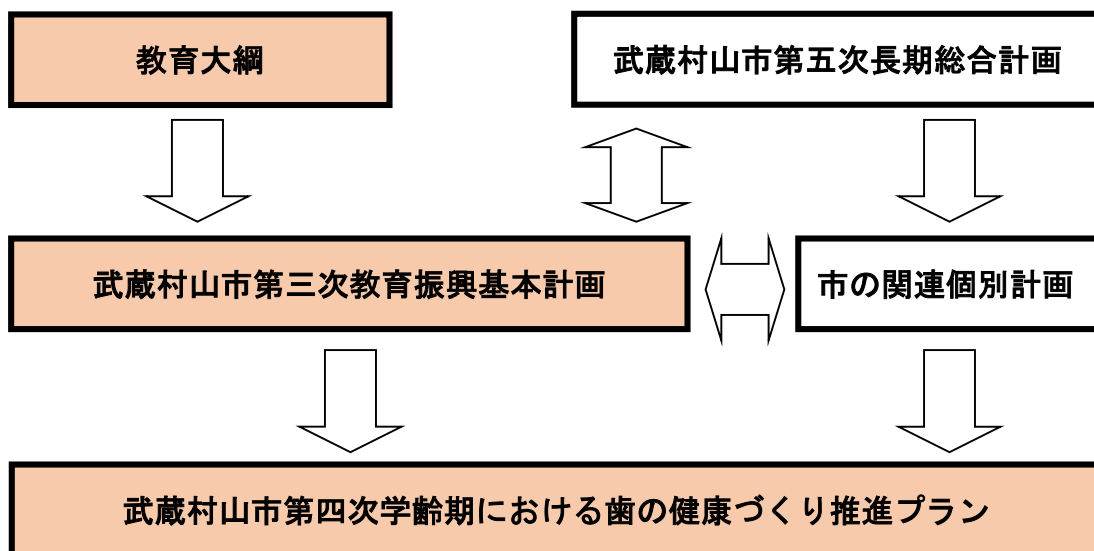
この度、計画期間が令和5年度をもって満了することに伴い、子供たちの歯の健康について効果的な取組を行うため、保護者への歯の健康に関するアンケート調査を実施し、当該調査の結果を踏まえ、令和6年度から令和10年度までの新たなプランを策定しました。

～むし歯に関するプランの歴史～

期間	プラン名
平成25年度～平成27年度	武蔵村山市むし歯ゼロプラン
平成28年度～平成30年度	武蔵村山市第二次学齢期における歯の健康づくり推進プラン
平成31年度～令和5年度	武蔵村山市第三次学齢期における歯の健康づくり推進プラン
令和6年度～令和10年度	武蔵村山市第四次学齢期における歯の健康づくり推進プラン

2 計画の位置付け（市の各種計画との整合）

本計画は、武蔵村山市第三次教育振興基本計画の基本施策である「健康な身体や体力を育む教育の推進」を図り、学齢期における歯と口の健康づくりを推進するため、策定するものです。



3 計画の期間

本計画は、令和6年度から令和10年度までの5か年を計画期間とします。また、教育をめぐる社会情勢の変化などに応じ、適宜必要な見直しを行うこととします。

武蔵村山市第四次学齢期における歯の健康づくり推進プラン

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
期間					

4 計画の目標

生涯を通じて豊かな食生活を送り、肉体的、精神的、社会的に健康で文化的な生活を保ち続けるには、歯や口の健康とともに、食生活や生活習慣など、ライフステージ全体に目を向けた視点が必要です。

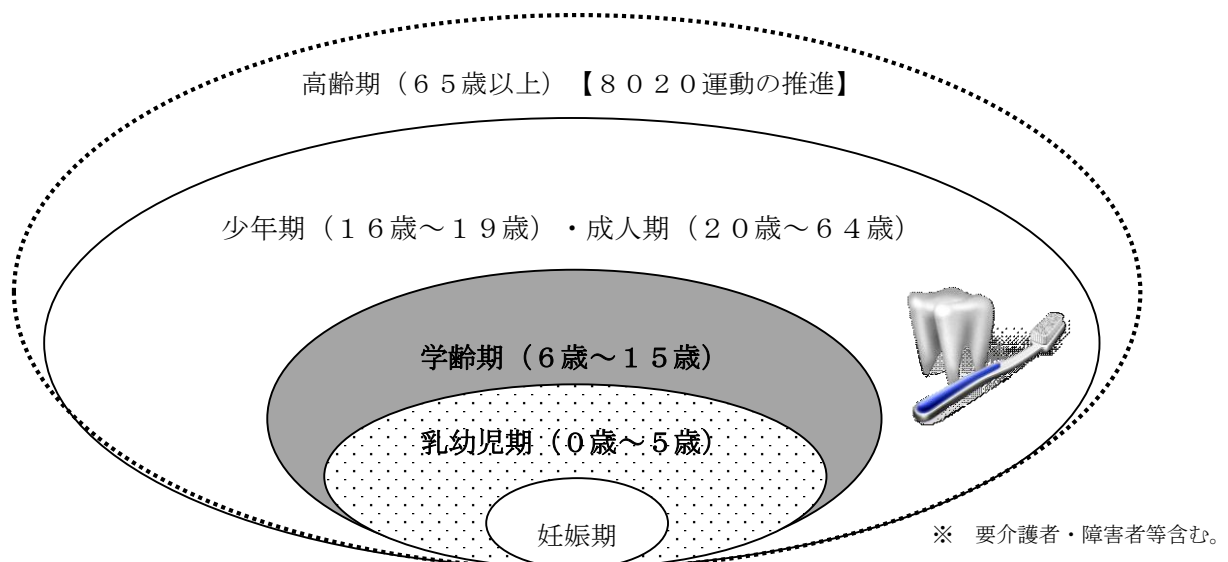
『武蔵村山市第四次学齢期における歯の健康づくり推進プラン』の目標

むし歯ゼロ・つよい歯・しろい歯・げんきな歯

～むし歯になると自然には**なおいません**～

教育委員会では、上記の目標を実現するため、妊娠期、乳幼児期、学齢期、少年・成人、高齢期の5つのライフステージのうち、学齢期の子供たちへの取組を中心として、現状と課題を整理して「学校」、「歯科医師会」、「教育委員会」が課題解決のために取り組むべき施策内容を定め、推進していきます。また、乳幼児期から歯の健康に関心をもってもらうため、保護者への啓発も実施します。

『武蔵村山市学齢期における歯の健康づくり推進プラン』の体系及び対象



8020運動(ハチマルニイマル運動)

80歳になっても自分の歯を**20本**以上残そう！

小さいころから歯を大事にしていれば健康に一生を過ごせるよ！



第2章 これまでの武蔵村山市の取組について

1 教育委員会の取組事例紹介

施策名	概要
むし歯ゼロプランに基づく各取組への支援	各校で実施する歯科保健指導等における必要な消耗品（染め出し綿棒、歯鏡等）の購入や、歯科衛生士の派遣を行う。
むし歯ゼロリーフレット（下敷き）の児童への配布	小学校に入学する児童及びその保護者に対し、歯に関するリーフレット（下敷き）を配布し、歯磨きの大切さやむし歯予防についての啓発を行う。
「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールの受賞作品」の展示	公益社団法人東京都学校歯科医会が主催する「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」において受賞した作品を、市役所1階ロビーに展示する。

2 歯科医師会の取組事例紹介

施策名	概要
むし歯ゼロプランにおける学校への支援	各校で実施する歯科保健指導等に従事する歯科衛生士の配置を行う。
無料歯科健診の実施	市民を対象に、無料で歯科健診、ブラッシング指導及び結果説明を行う。また、3歳から12歳までの子供にフッ素塗布を行う。
「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」、「歯の作文」及び「歯・口の健康啓発標語コンクール」の審査	公益社団法人東京都学校歯科医会が主催する「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」、「歯の作文」及び「歯・口の健康啓発標語コンクール」に提出する作品の審査を行う。

コラム 自分の歯は全部で何本？

成人の歯は智歯（親知らず）も入れて**32本**です。

高齢になると自分の歯の本数が少なくなるのは、むし歯と歯周病が主な要因です。

歯は食事や歯磨きなど生活習慣と関わっています。食べたら歯を磨く習慣をつけましょう。

3 未就学児に対しての取組事例紹介

施策名	概要
保育所・幼稚園歯みがき指導（歯科講話及び歯磨き指導）	園児を対象に歯や口の大切さを伝え、歯磨き指導や口の体操を実施する。
1歳6か月児歯科健康診査	1歳6か月児を対象に歯科健診の実施及びその保護者に対する歯科保健指導を行う。
2歳児歯科健康診査	2歳児を対象に歯科健診、フッ素塗布の実施及びその保護者に対する歯科保健指導を行う。
3歳児歯科健康診査	3歳児を対象に歯科健診の実施及びその保護者に対する歯科保健指導を行う。
乳幼児歯科健康診査（ビーバー歯科健康診査）	0歳から就学前までの乳幼児を対象に歯科健診、フッ素塗布の実施及びその保護者を対象に歯科保健指導を行う。
乳幼児歯科健康教室（かむかむキッズ）	10か月から1歳6か月までの乳幼児と保護者を対象にむし歯予防や上手にかむこと、飲み込むことを伝え、仕上げ磨きの練習を行う。

4 小・中学校の取組事例紹介

施策名	概要・実績等
歯科健診後の再受診勧奨	4～6月に実施される定期歯科健康診断において、歯科疾患治療が必要な児童・生徒に対し、歯科医院を受診するよう通知を出すとともに、一定期間経過後未受診者に対して受診勧奨を行う。
保健だよりの発行	学校が定期的に発行する保健だよりに歯に関する情報を掲載し、啓発を行う。
学校保健委員会における歯の健康課題の解決に向けた協議	学校管理職、養護教諭、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等で構成される学校保健委員会において、自校の歯の健康課題を把握するとともに課題解決に向けた協議を行い、具体的な解決策に対する評価・改善を行う。
「歯の作文」及び「歯・口の健康啓発標語コンクール」への応募	児童・生徒に対して、公益社団法人東京都学校歯科医会が主催する「歯の作文」及び「歯・口の健康啓発標語コンクール」への応募を促進する。

施策名	概要・実績等
歯科保健指導の実施	歯磨きの大切さを知ることや、正しい歯磨き方法を習得するために、染め出し綿棒を使用したブラッシング指導を行う。
歯科講話	学校歯科医が、児童・生徒に対して歯の健康に関する啓発を行う。
秋の臨時歯科健康診断	4～6月に実施される定期歯科健康診断の結果、未処置者の割合が高い学校について学校歯科医と連携し、健康診断を行う。
「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」への応募	児童・生徒に対して、公益社団法人東京都学校歯科医会が主催する「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」への応募を促進する。

コラム むし歯はどうしてなるの？

むし歯は、歯垢（プラーク）中の細菌が糖分を栄養にして作り出した酸によって歯がとけていく病気です。口の中にはたくさんの細菌がいて、その中にはむし歯の原因となるストレプトコッカス・ミュータンス菌もいます。

- ① ミュータンス菌は、食べ物の中の糖分をもとにネバネバした物質を作り、歯に強くくっついて、どんどん増えていきます。これが歯垢です。
- ② 歯垢の中のミュータンス菌は、食べ物の中の糖分を栄養にして、酸を作ります。
- ③ この酸によって、歯のエナメル質中のカルシウムやリンなどのミネラル成分が溶け出し、歯がスカスカになります。
- ④ 進行すると、歯に穴が開き、ひどいむし歯になってしまいます。

※ 穴が開いたむし歯は自然に元に戻りませんので、歯科医院で治してもらう必要があります。

口の中に「細菌」と「糖分」がある状態が長時間続くとむし歯になるリスクが高まります。おやつはダラダラと食べずに、時間や回数を決め、砂糖が多く入っているものの食べ過ぎに気をつけましょう。

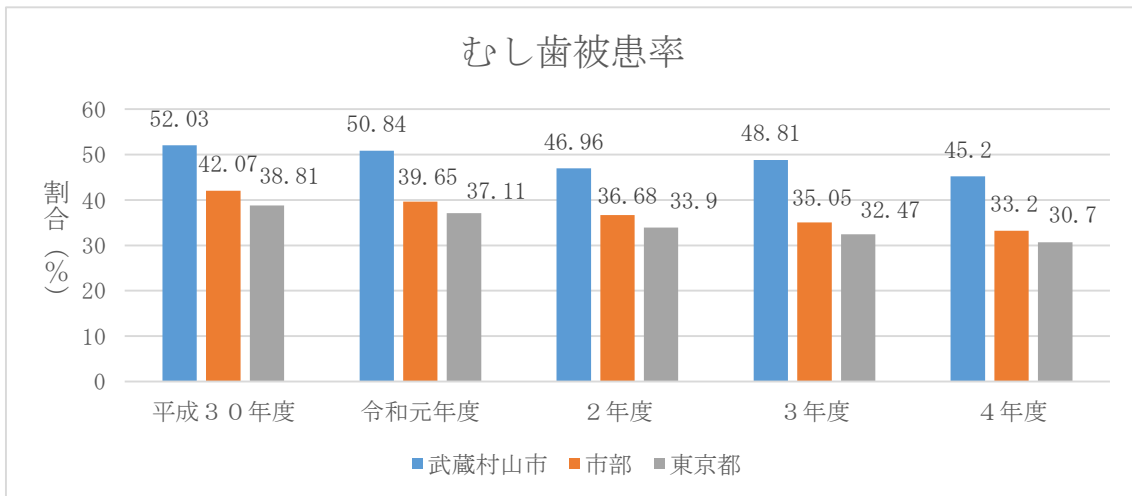
第3章 現状及び課題について

1 統計から見る現状

(1) 小学生

ア むし歯被患率（むし歯になったことのある児童の割合）

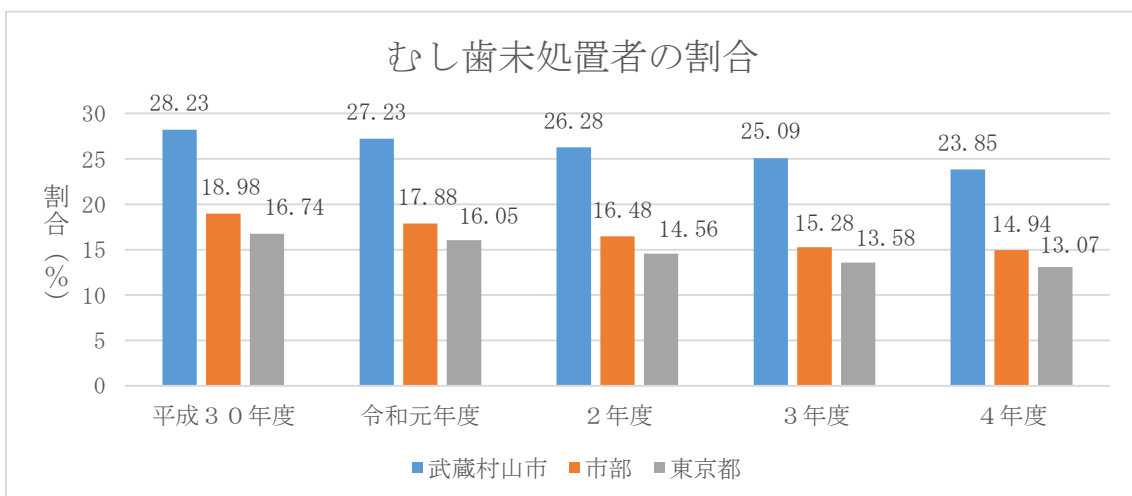
むし歯になったことがある児童の割合は、45.2%（令和4年度）であり、市部平均（33.2%）及び東京都平均（30.7%）を大きく上回る状況です。この割合は、26市中24位となっています。



出典：東京都学校保健統計書

イ むし歯未処置者の割合

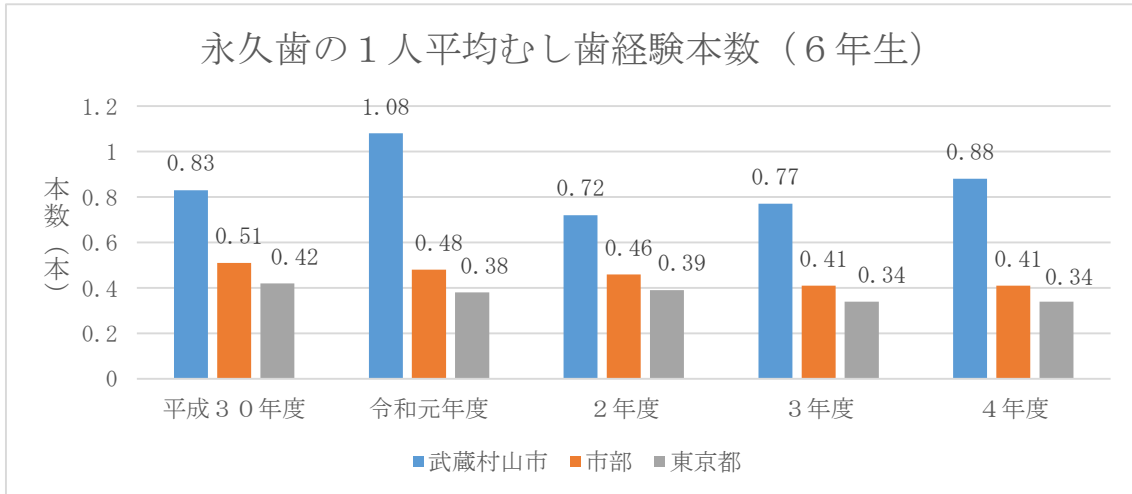
むし歯を処置していない児童の割合は、23.85%（令和4年度）であり、市部平均（14.94%）及び東京都平均（13.07%）を大きく上回る状況です。この割合は、26市中24位となっています。



出典：東京都学校保健統計書

ウ 永久歯の1人平均むし歯経験本数（6年生）

永久歯の1人平均むし歯経験本数は、0.88本（令和4年度）となっており、市部平均（0.41本）及び東京都平均（0.34本）を大きく上回る状況です。この本数は、26市中25位となっています。

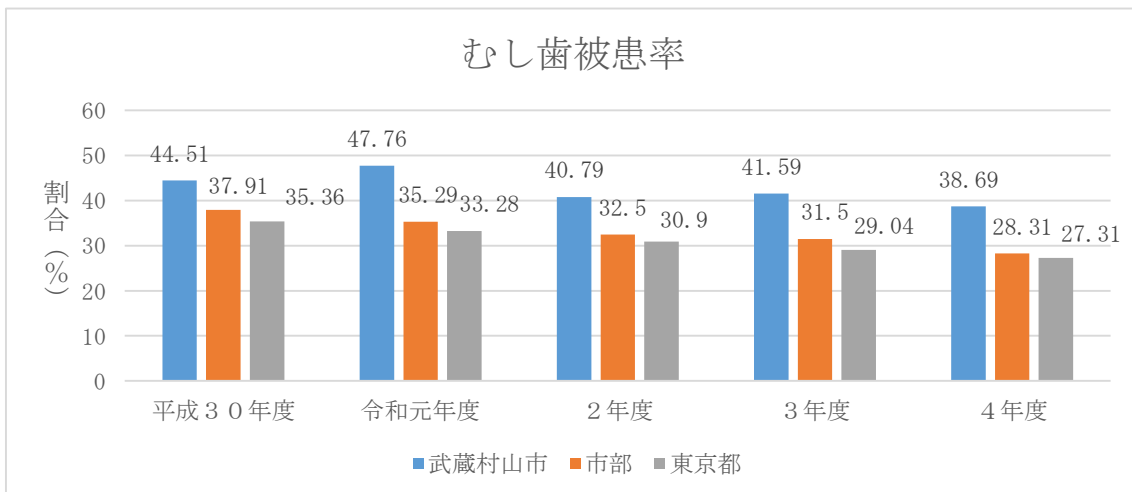


出典：東京都学校保健統計書

(2) 中学生

ア むし歯被患率（むし歯になったことのある生徒の割合）

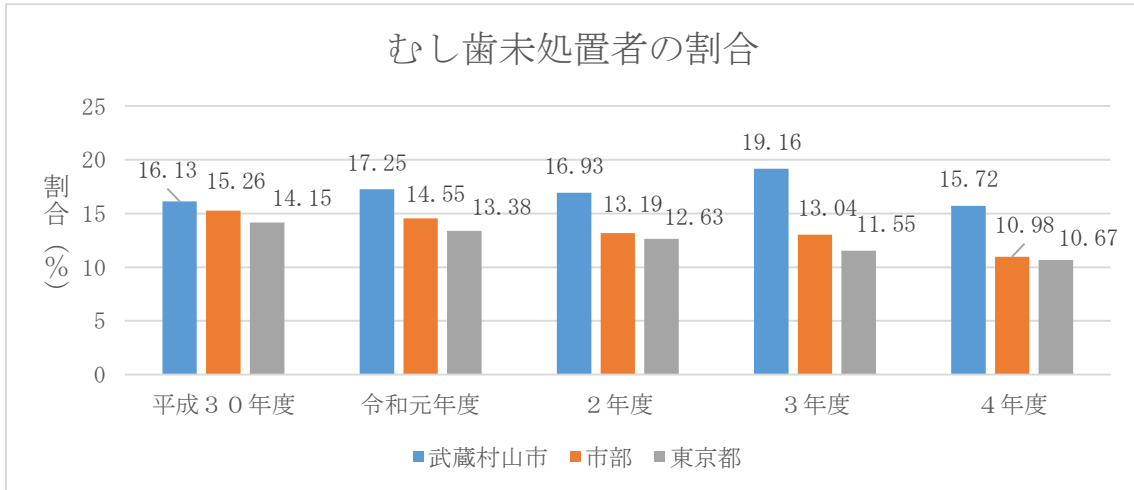
むし歯になったことがある生徒の割合は、38.69%（令和4年度）であり、市部平均（28.31%）及び東京都平均（27.31%）を大きく上回る状況です。この割合は、26市中23位となっています。



出典：東京都学校保健統計書

イ むし歯未処置者の割合

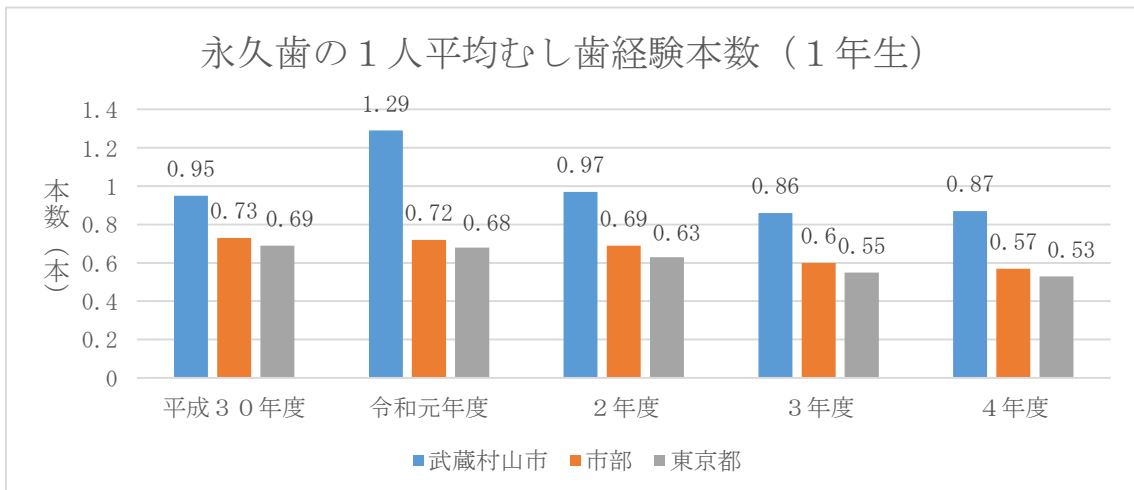
むし歯を処置していない生徒の割合は、15.72%（令和4年度）であり、市部平均（10.98%）及び東京都平均（10.67%）を大きく上回る状況です。この割合は、26市中24位となっています。



出典：東京都学校保健統計書

ウ 永久歯の1人平均むし歯経験本数（1年生）

永久歯の1人平均むし歯経験本数は、0.87本（令和4年度）となっており、市部平均（0.57本）及び東京都平均（0.53本）を大きく上回る状況です。この本数は、26市中25位となっています。



出典：東京都学校保健統計書

2 アンケート結果から見る現状

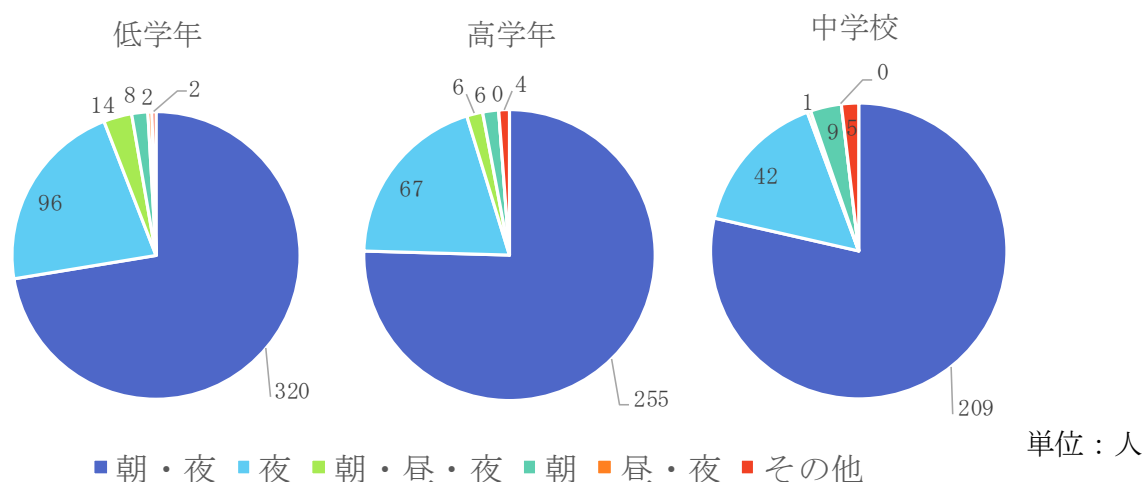
市内の小・中学校に在籍している児童・生徒の保護者を対象に、歯や口の健康に関する意識や子どもの歯磨きの回数などについてのアンケート調査を行いました。

アンケートの回答人数は、小学校低学年（小学校1～3年生）441人、小学校高学年（小学校4～6年生）338人、中学校266人の合計1,045人です。

(1) お子様は、いつ歯を磨きますか。

毎食後磨いている子は約2%であり、ほとんどの子が朝昼夜の食後に磨いていません。また、朝又は夜の一日一回しか磨かない子が約21.8%います。

項目	小学校低学年		小学校高学年		中学校	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
朝・夜	320	72.56	255	75.44	209	78.57
夜	96	21.77	67	19.82	42	15.79
朝・昼・夜	14	3.17	6	1.78	1	0.38
朝	8	1.81	6	1.78	9	3.38
昼・夜	2	0.45	0	0.00	0	0.00
その他	2	0.45	4	1.18	5	1.88



コラム 日本での初めての歯ブラシ

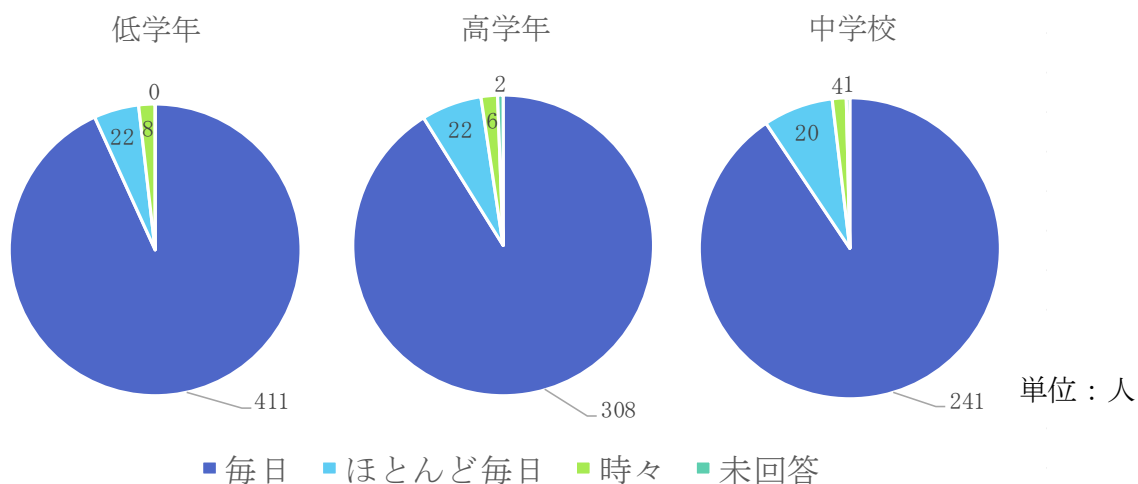
日本での初めての歯ブラシは、明治5年、鯨の髯（ひげ）を柄にして馬毛を植えた鯨楊枝です。これは西洋の歯ブラシをまねたものです。その後、竹の柄に豚毛を植えた竹楊枝、大正期にはセルロイド柄の歯ブラシで歯を磨く行為を行っていました。

参考：「いい歯は毎日を元気にプロジェクト」

(2) お子様の歯磨きの頻度はどのくらいですか。

約 91.9%の割合で、どの学年の子も毎日磨いています。しかし、時々しか磨かない子が、約 1.7%います。

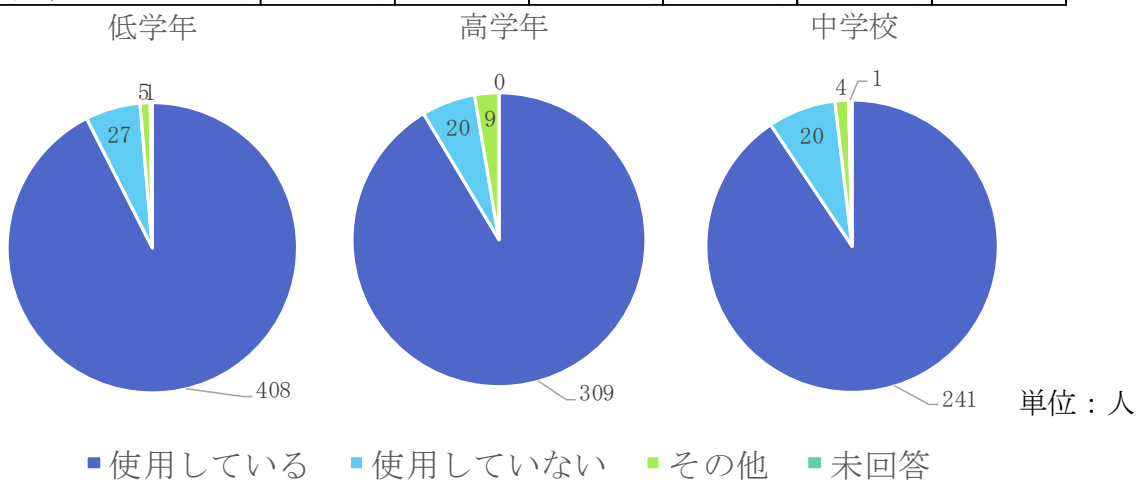
項目	小学校低学年		小学校高学年		中学校	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
毎日	411	93.20	308	91.12	241	90.60
ほとんど毎日	22	4.99	22	6.51	20	7.52
時々	8	1.81	6	1.78	4	1.50
未回答	0	0.00	2	0.59	1	0.38



(3) お子様は、歯磨き粉を使用していますか。

約 91.7%の割合で、どの学年の子も毎日歯磨き粉を使用しています。しかし、約 6.4%の子は歯磨き粉を使用していません。

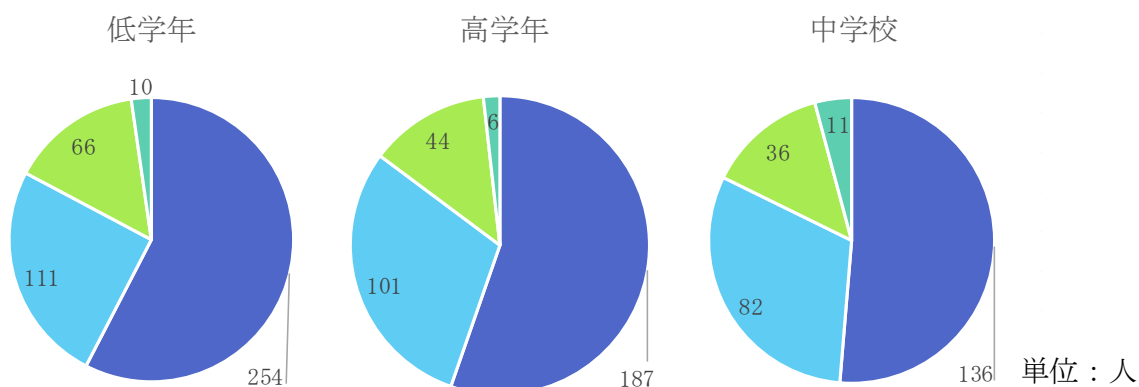
項目	小学校低学年		小学校高学年		中学校	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
使用している	408	92.52	309	91.42	241	90.60
使用していない	27	6.12	20	5.92	20	7.52
その他	5	1.13	9	2.66	4	1.50
未回答	1	0.23	0	0.00	1	0.38



(4) お子様は、甘い飲み物を摂取しますか。

約 55.2%の割合でどの学年の子も時々飲んでおり、毎日飲むという子は約 28.1%います。

項目	小学校低学年		小学校高学年		中学校	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
時々飲む	254	57.60	187	55.33	136	51.13
毎日飲む	111	25.17	101	29.88	82	30.83
あまり飲まない	66	14.97	44	13.02	36	13.53
飲まない	10	2.27	6	1.78	11	4.14

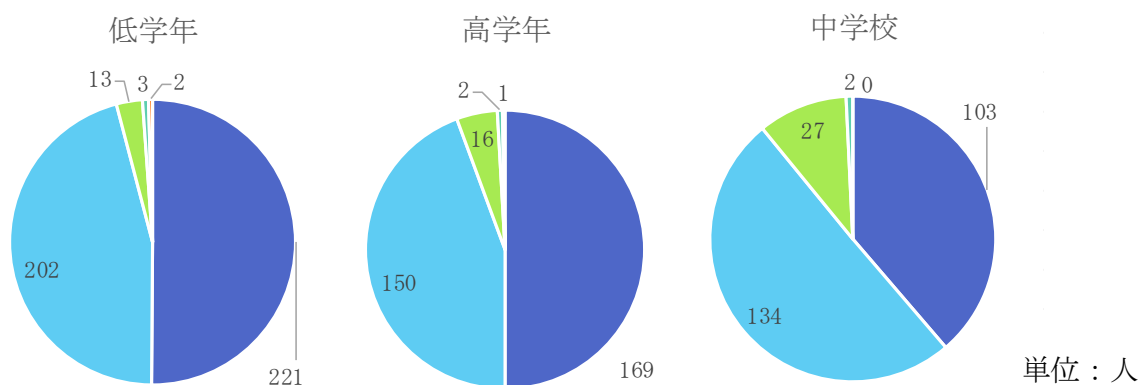


■ 時々飲む ■ 毎日飲む ■ あまり飲まない ■ 飲まない

(5) お子様は、甘いお菓子を摂取しますか。

小学生は約 50.1%、中学生では約 38.7%の子が毎日甘いお菓子を食べっており、時々食べるという子は小学生では約 45.2%、中学生では約 50.3%います。

項目	小学校低学年		小学校高学年		中学校	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
毎日食べる	221	50.11	169	50.00	103	38.72
時々食べる	202	45.80	150	44.38	134	50.38
あまり食べない	13	2.95	16	4.73	27	10.15
食べない	3	0.68	2	0.59	2	0.75
未回答	2	0.45	1	0.30	0	0.00

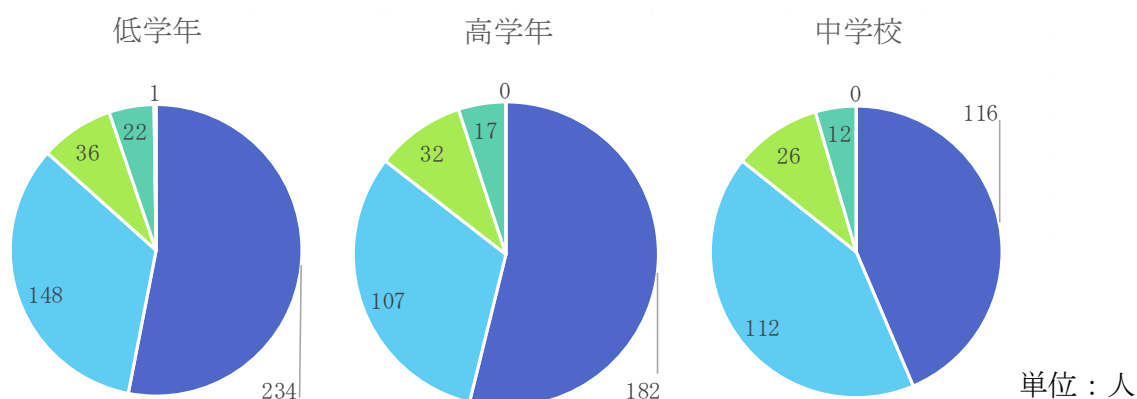


■ 毎日食べる ■ 時々食べる ■ あまり食べない ■ 食べない ■ 未回答

(6) お子様は、歯科医院へはどんな時に行きますか。

定期的に歯科医院に行くという子が小学生では約 53.4%、中学生では約 43.6%となっていますが、歯が痛くなった時に行くという子が約 9%います。

項目	小学校低学年		小学校高学年		中学校	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
定期的に行く	234	53.06	182	53.85	116	43.61
歯科健診でお知らせもらった時	148	33.56	107	31.66	112	42.11
歯が痛くなった時	36	8.16	32	9.47	26	9.77
その他	22	4.99	17	5.03	12	4.51
未回答	1	0.23	0	0.00	0	0.00

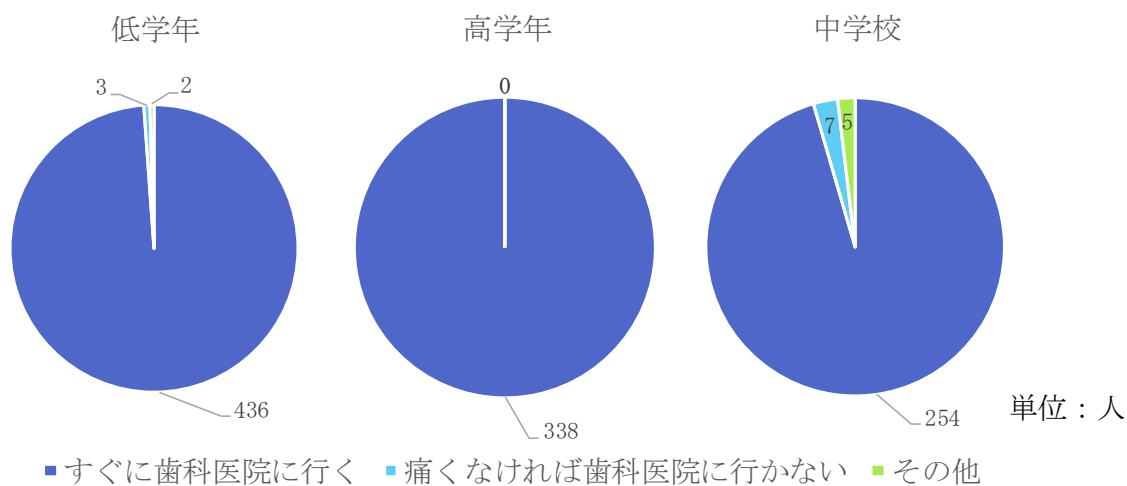


■ 定期的に行く ■ 歯科健診でお知らせもらった時 ■ 歯が痛くなった時 ■ その他 ■ 未回答

(7) お子様の歯に、むし歯ができたと言われたらどうしますか。

ほとんどの子が、すぐに歯科医院へ行くと回答しましたが、中学生では痛くなければ行かないという子が約 2.6%います。

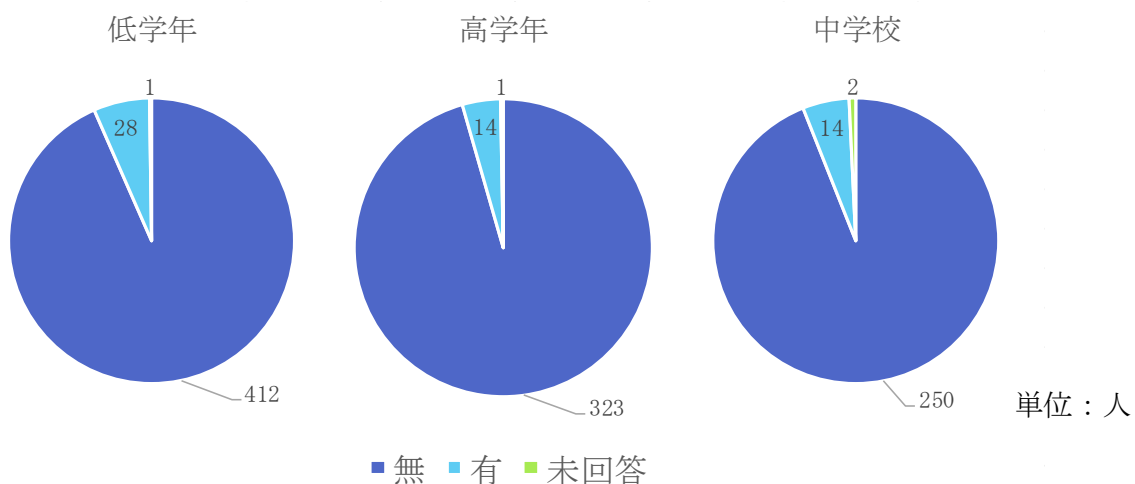
項目	小学校低学年		小学校高学年		中学校	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
すぐに歯科医院に行く	436	98.87	338	100.00	254	95.49
痛くなければ歯科医院に行かない	3	0.68	0	0.00	7	2.63
その他	2	0.45	0	0.00	5	1.88



■ すぐに歯科医院に行く ■ 痛くなければ歯科医院に行かない ■ その他

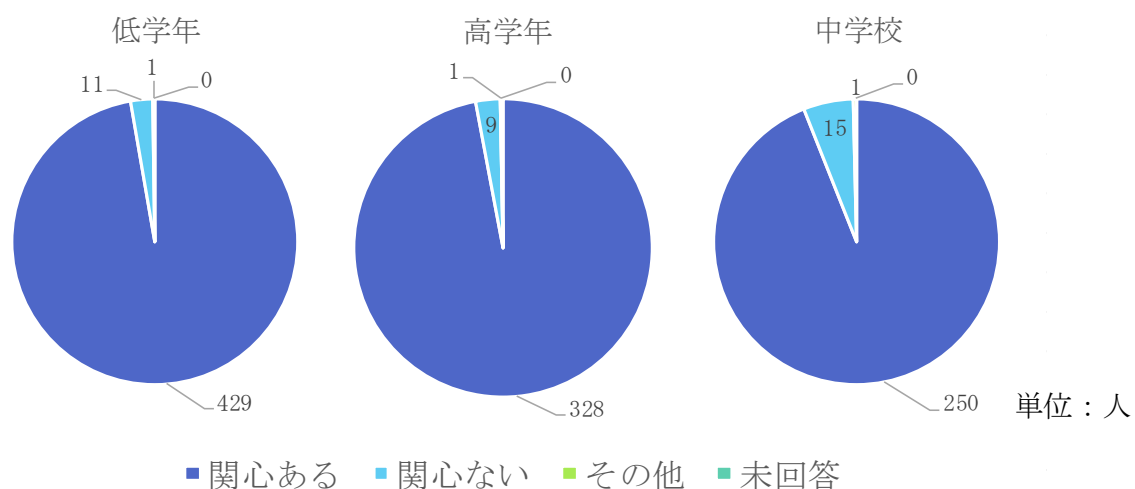
(8) お子様に、治療していない歯はありますか。
 治療していない歯がある子が約5.4%います。

項目	小学校低学年		小学校高学年		中学校	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
無	412	93.42	323	95.56	250	93.98
有	28	6.35	14	4.14	14	5.26
未回答	1	0.23	1	0.30	2	0.75



(9) 保護者様は口や歯の健康に関心がありますか。
 小学校では約2.6%、中学校では約5.6%の保護者が関心がありませんでした。

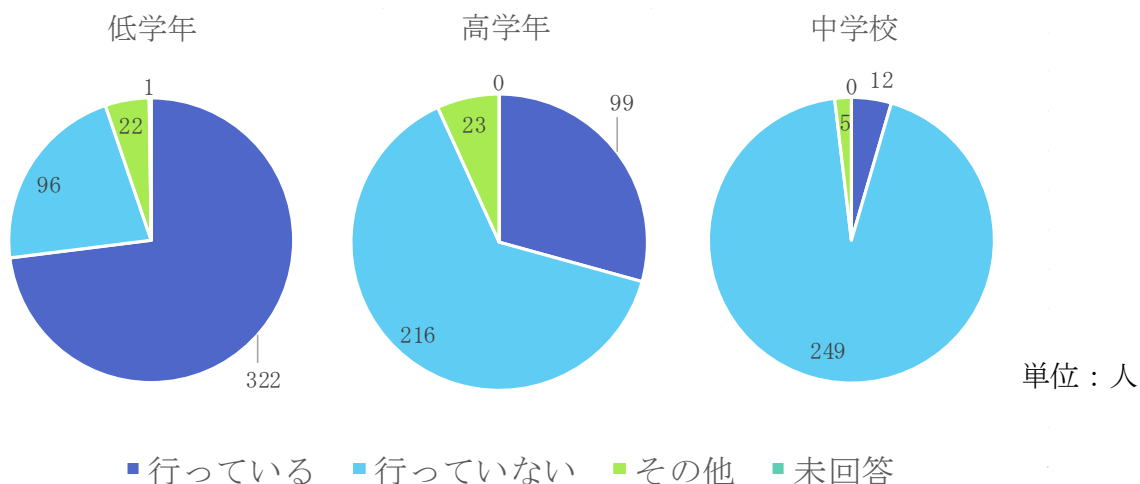
項目	小学校低学年		小学校高学年		中学校	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
関心ある	429	97.28	328	97.04	250	93.98
関心ない	11	2.49	9	2.66	15	5.64
その他	1	0.23	0	0.00	1	0.38
未回答	0	0.00	1	0.30	0	0.00



(10) 保護者様によるお子様の歯磨き仕上げを行っていますか。

低学年では約 73%の保護者が行っていますが、学年が上がっていくにつれて仕上げ磨きを行っていない保護者の割合が増加しています。

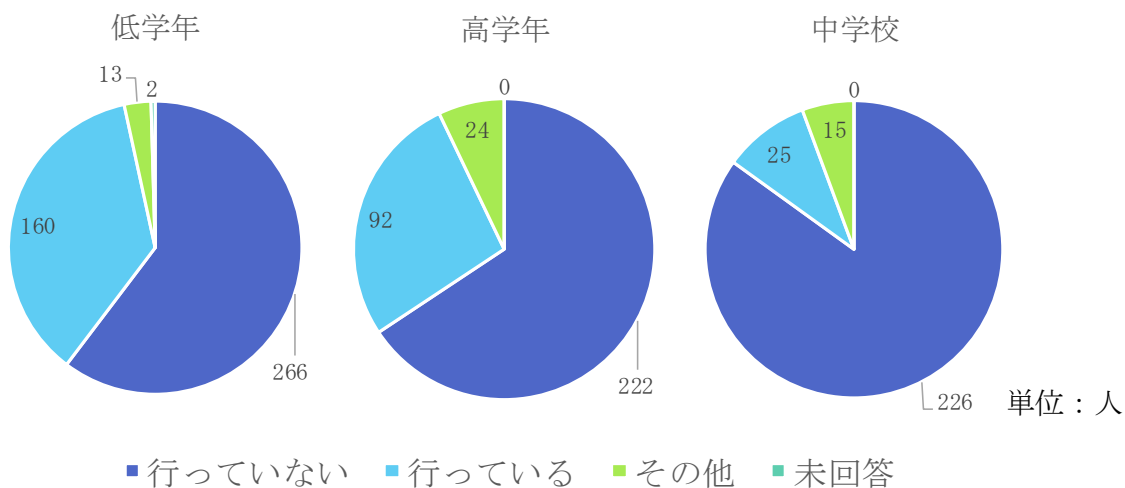
項目	小学校低学年		小学校高学年		中学校	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
行っている	322	73.02	99	29.29	12	4.51
行っていない	96	21.77	216	63.91	249	93.61
その他	22	4.99	23	6.80	5	1.88
未回答	1	0.23	0	0.00	0	0.00



(11) 保護者様が、デンタルフロスや歯間ブラシ等を使用し、お子様の歯間部の清掃を行っていますか。

低学年では約 36.3%の保護者が行っていますが、学年が上がっていくにつれて行っていない保護者の割合が増加しています。

項目	小学校低学年		小学校高学年		中学校	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
行っていない	266	60.32	222	65.68	226	84.96
行っている	160	36.28	92	27.22	25	9.40
その他	13	2.95	24	7.10	15	5.64
未回答	2	0.45	0	0.00	0	0.00



3 現状から見えてくる課題

統計及びアンケート結果から、以下のような課題が見えてきます。

(1) むし歯被患率が高く、永久歯の1人平均むし歯経験本数も多い

統計から、本市の児童・生徒のむし歯被患率及び永久歯の1人平均むし歯経験本数が、東京都平均及び市部平均と比較して、大きく上回っていることがわかります。

原因として、4点挙げられます。

1点目は、子どもが正しいブラッシング方法を知らないことです。歯磨きはむし歯予防において大切な方法のひとつであるため、正しく歯磨きを行うことで一定のむし歯予防効果があります。

2点目は、歯磨きをする際、歯磨き粉を使用しない子が約6.4%いることです。フッ化物配合歯磨剤のむし歯予防効果は、使用しなかった時と比較して、むし歯になる確率がおおむね24%減少するため、使用することにより、むし歯の予防が期待できます。

3点目は、甘いお菓子及び飲み物を毎日又は時々摂取している子が多数いることです。砂糖はむし歯のリスク・ファクターのひとつであり、摂取方法によってむし歯の発症に影響を与えることがあります。

4点目は、定期的に歯科医院に行っている子が約半数しかおらず、歯が痛くなってから行く子が約9%いることです。歯科衛生士による頻回（2週間に1回）の専門的歯面清掃法によってむし歯や歯肉炎が著しく減少するため、定期的に歯科医院に行くことが推奨されます。

(2) むし歯未処置者の割合が高い

統計から、むし歯未処置者の割合が、東京都平均及び市部平均と比較して、大きく上回っていることがわかります。

むし歯を治療せずに放置してしまうと、進行して痛みが増すばかりでなく、治療が大変になることや、治療ができなくなってしまう可能性があります。

原因として、アンケート結果から、子どもの歯の健康に関心のない保護者が一定数いることが挙げられます。歯の健康に関しては、幼少期・学齢期の頃は保護者の意識がとて重要で、よって保護者の意識付けをすることが望まれます。

(3) 歯や口の健康に関する意識が低い傾向がある

アンケート結果から、(2)で挙げたとおり、子どもの歯の健康に関心のない保護者が一定数いることがわかります。保護者が子どもの歯の健康に関心がないと、必然的に子ども自身も歯の健康に関心をもたなくなる可能性が高まります。

また、仕上げ磨きを実施している保護者の割合は以下の表のように年を重ねるごとに減少しており、1年生においても実施率は約84%となっています。仕上げ磨きは、永久歯が生えそろう12歳頃まで行った方がよいとされていますので、実施率の向上が望まれます。保護者が、デンタルフロスや歯間ブラシ等を使用し、子の歯間部の清掃を行っている割合も、どの学年においても低いです。歯間ブラシは、特にむし歯になりやすい歯と歯の間の清潔を保つことがとても重要であるため、保護者が子どもに対して使用することが望まれます。

仕上げ磨き実施率（小学校）

学年	実施者数	アンケート回答者数	割合
1年	154	184	83.70
2年	97	127	76.38
3年	73	130	56.15
4年	58	126	46.03
5年	24	108	22.22
6年	17	104	16.35

コラム お口の補助清掃道具はどれを使えばいいの？

歯ブラシだけによる清掃は、歯の表裏や噛み合わせの清掃には非常に有効であるものの、歯と歯の間の清掃には十分な効果はありません。

そこで、隙間のある歯間部清掃には、歯間ブラシが便利です。

また、歯間ブラシが入らない場合には、デンタルフロスを使うのがベストです。

第4章 数値目標及び取り組むべき施策について

1 数値目標

目標指数	参照	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	参考数値 (令和4年度)
小学生の未処置者率の減少	学校保健統計調査	23.85%	15.5%	国 17.83% 都 13.07%
中学生の未処置者率の減少	〃	15.72%	14%	国 11.91% 都 10.67%
12歳児(中学1年生)のDMF歯数の減少	〃	0.87本	0.65本	国 0.58本 都 0.53本
むし歯のない12歳児(中学1年生)の割合の増加	〃	61.98%	70%	国 73.43% 都 74.78%

※ DMF歯数：永久歯のむし歯経験本数が一人当たり何本あるかを示すもの。

2 取り組むべき施策

(1) むし歯及び歯周疾患の予防対策の推進

新規又は継続	施策名	施策内容及び効果	目標
継続	歯科保健指導	むし歯予防、歯周病予防において、歯磨きが重要であることを理解させ、染め出し液等を用いてブラッシング指導を行い、正しい歯磨きの仕方を身につけさせる。	2回/年度 (全校)
継続	給食後の歯磨きの促進	給食後に歯磨きができる環境づくりを促進し、児童・生徒が自ら歯と口腔の健康づくりに意欲的に取り組む意識を育む。	促進(全校)
新規	定期的な歯科医院の受診勧奨	定期的な歯科医院への受診を促すチラシ等の作成・配布を行い、保護者に対して、定期的に歯科医院を受診することの大切さを意識付ける。	1回/年度 (全校)

新規又は継続	施策名	施策内容及び効果	目標
新規	GIGA 端末等による啓発	日本歯科医師会が作成している歯の磨き方に関する動画を配信し、仕上げ磨きの重要性を周知する。	2回／年度
新規	全国小学生歯みがき大会への参加	公益財団法人ライオン歯科衛生研究所主催の全国小学生歯みがき大会への参加及び参加促進を行い、効果的な歯磨きの方法について学ぶ。	5校以上／年度

(2) 児童・生徒及び保護者に対する歯科疾患に関する知識の啓発

新規又は継続	施策名	施策内容及び効果	目標
継続	歯科講話	歯の大切さを理解し、自律的に歯の健康を管理する意識を育む。	1回／年度 (全校)
継続	学校保健委員会の活用	自校の歯の健康課題を把握し、学校保健委員会において課題解決に向けた協議を行い、具体的な解決策を実施し、評価・改善を行う。	1回／年度 (全校)
継続	「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」への参加	歯や口の健康づくりを通して生涯にわたり健康で安全に生活するための習慣や態度の育成に寄与することを目的として、公益社団法人東京都学校歯科医会が主催する「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」への応募促進及び受賞作品の展示を行う。	50作品以上／年度
継続	「歯の作文」「歯・口の健康啓発標語コンクール」への参加	児童・生徒が学校や家庭、さらに社会から得られた知識や体験を通して歯科保健の様々な課題について思考を深めることを目的として、公益社団法人東京都学校歯科医会が主催する「歯の作文」、「歯・口の健康啓発標語コンクール」への応募の促進を図る。	促進(全校)

新規又は継続	施策名	施策内容及び効果	目標
継続	食育に関する事業	食を通じた歯や口の健康づくりや望ましい生活習慣の形成を通して、歯と口の健康についての啓発に努める。	1回／年度 (全校)
継続	リーフレットの配布	小学校に入学予定の児童及び保護者に対して、リーフレット(下敷き)を配布し、歯磨きの大切さやむし歯予防について啓発を行う。	新入生に配布(全校)
継続	保健だよりの活用	各校で発行している保健だよりに歯に関する記事を掲載し、児童・生徒に対して啓発や意識付けを行う。	1回／年度 (全校)
新規	未就学児の保護者に対する啓発	未就学児の保護者に対して、小学校及び中学校でのむし歯被患率等の現状について周知することで、歯の健康に対して関心をもってもらおう。	1回／年度
新規	間食の方法等の啓発	むし歯を作りにくい間食の食べ方や、歯に良いおやつなどを保護者等に対して周知する。	1回／年度

(3) 歯科健診後の効果的かつ継続的な事後措置の推進

新規又は継続	施策名	施策内容及び効果	目標
継続	秋の臨時歯科健康診断	4～6月に実施する定期歯科健診の結果、未処置者の割合が高い学校について学校歯科医と連携し、健康診断を行う。	7校以上／年度
継続	就学援助(医療費)の周知	健康診断でう歯(むし歯)の受診指導があった場合、就学援助を受給している世帯では無料で指定医療機関にて受診できることを周知し、未処置者の減少を図る。	1回／年度
継続	未受診者に対する受診勧奨	4～6月に実施される定期歯科健康診断において、歯科疾患治療が必要な児童・生徒に対し、歯科医院を受診するよう通知を出すとともに、一定期間経過後、未受診者に対して再度受診勧奨を行う。	1回／年度

(4) その他

新規又は継続	施策名	施策内容及び効果	目標
新規	東京都学校歯科保健優良校表彰への応募	東京都学校歯科医会・東京都学校保健会が主催する「東京都学校歯科保健優良校表彰」への応募及び応募促進を行い、学校における歯の健康課題を把握する。	全校

3 重点的に取り組むべき施策

(1) 歯科保健指導（染め出し）によるブラッシング指導

前章で挙げたとおり、本市の児童・生徒のむし歯被患率及び永久歯の1人平均むし歯経験本数は、東京都平均及び市部平均と比較して大きく上回っており、その原因の一つが、子どもが正しいブラッシング方法を知らないことでした。

歯磨きは歯面からプラークを機械的に除去することを目的とした予防法であるため、むし歯予防には必要不可欠です。しかしながら、正しいブラッシングを知らないまま歯磨きを行うだけでは、磨き残しが発生し、その部分にプラークがたまってしまい、結果的にむし歯になってしまいます。

そこで、染め出し液等を使用し、むし歯や歯周病の原因となるプラーク（歯垢）を染め出し、磨き残しやすい部分を把握する等、普段の磨き方の課題に気づかせるとともに、正しいブラッシング法を身につけさせます。

この歯科保健指導によるブラッシング指導を重点的に取り組むべき施策に位置付け、各校において年2回実施することを目標に取り組んでいきます。

(2) 歯科講話の実施

前章にて、歯や口の健康に関する意識が低い傾向があることが課題の一つとして挙げられました。歯や口の健康に関する意識が低いと、むし歯になってしまうだけでなく、様々な病気（歯周病や不正咬合等）になってしまいます。

そこで、児童・生徒に対して学校歯科医による歯の健康に関する講話を行うことで、歯の大切さを理解し、自律的に歯の健康を管理する意識を育ませます。

この歯科講話の実施も、歯科保健指導によるブラッシング指導同様、重点的に取り組むべき施策に位置付け、各校において年1回実施することを目標に取り組んでいきます。

(3) 未受診者に対する受診勧奨

前章にて、むし歯未処置者の割合が高いことが課題の一つとして挙げられました。目標に掲げているとおり、むし歯は自然に治ることはなく、必ず歯科医院に通院し、治療する必要があります。むし歯を放置すると、欠損や障害が蓄積し、結果として歯の喪失に繋がる可能性があるため、食生活や社会生活等に支障をきたしてしまうこともあり、全身の健康に影響を与えてしまいます。

そこで、4月から6月までに実施される定期歯科健康診断において、歯科疾患治療が必要な児童・生徒に対し、歯科医院を受診するよう通知を出すとともに、一定期間経過後、未受診者に対して再度受診勧奨を行うことで、重症化を防ぎ、むし歯を治癒させ、児童・生徒の歯の健康を保ちます。

この未受診者に対する受診勧奨を重点的に取り組むべき施策に位置付け、各校において年1回通知を出し、毎年9月末に家庭から治療経過を提出していただくことを目標に取り組んでいきます。

コラム 歯磨きをしないで眠ると むし歯になるの？

寝ている間は唾液の分泌量がほとんどなく、汚れをつけたまま寝るとむし歯になりやすくなります。

寝る前に歯を磨く習慣をつけましょう。

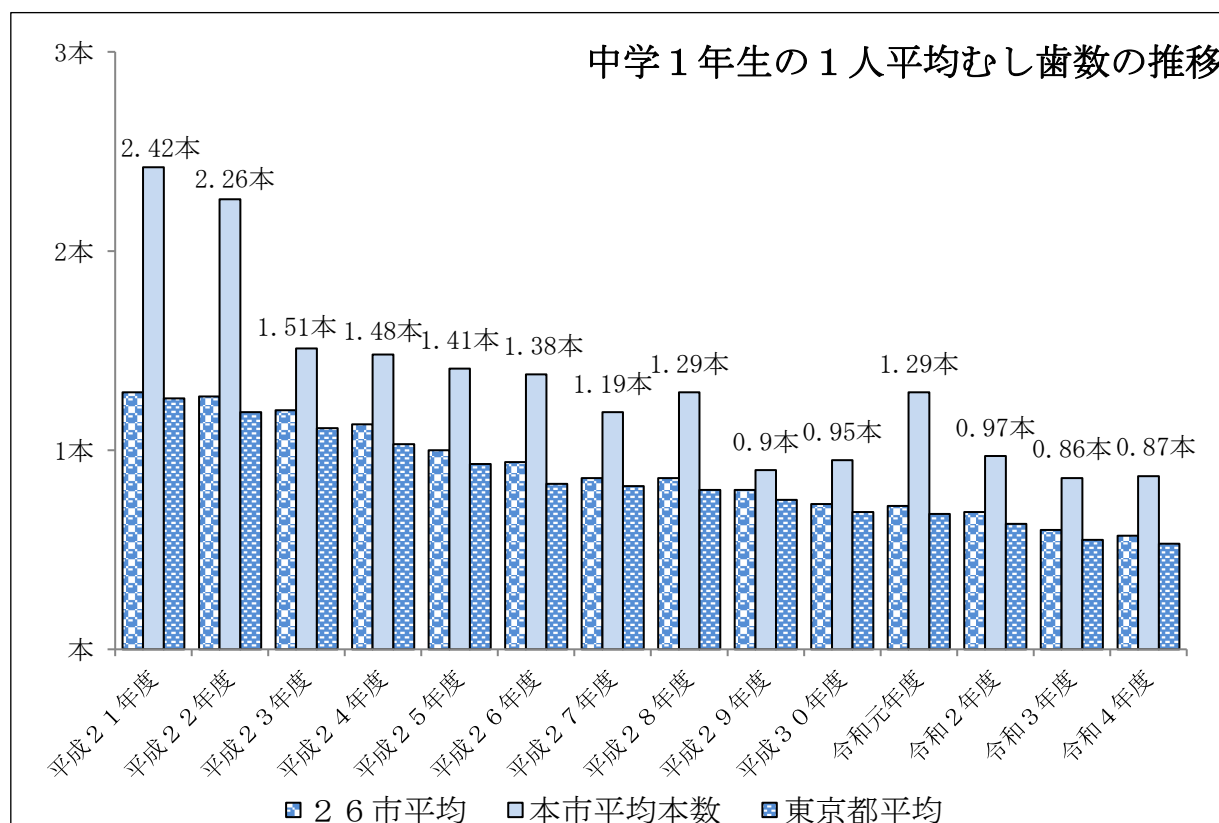
資料編

1	武蔵村山市の中学1年生の1人平均むし歯数の推移	… 25
2	定期健診（歯科）における学校別むし歯率の推移（小学校）	… 26
3	定期健診（歯科）における学校別むし歯率の推移（中学校）	… 28
4	武蔵村山市のむし歯のある1歳6か月児・2歳児・3歳児の割合	… 29
5	アンケート概要	… 30
6	「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」応募状況	… 31

武蔵村山市の中学1年生の1人平均むし歯数の推移

年度	本市平均本数	26市平均	東京都平均	26市中順位
平成21年度	2.42本	1.29本	1.26本	26位
平成22年度	2.26本	1.27本	1.19本	26位
平成23年度	1.51本	1.2本	1.11本	22位
平成24年度	1.48本	1.13本	1.03本	21位
平成25年度	1.41本	1.00本	0.93本	25位
平成26年度	1.38本	0.94本	0.83本	26位
平成27年度	1.19本	0.86本	0.82本	24位
平成28年度	1.29本	0.86本	0.8本	22位
平成29年度	0.9本	0.8本	0.75本	20位
平成30年度	0.95本	0.73本	0.69本	23位
令和元年度	1.29本	0.72本	0.68本	26位
令和2年度	0.97本	0.69本	0.63本	24位
令和3年度	0.86本	0.6本	0.55本	22位
令和4年度	0.87本	0.57本	0.53本	25位

※ 各年度の「東京都の学校保健統計書」（東京都教育庁地域教育支援部義務教育課）より



定期健診（歯科）における学校別むし歯率の推移（小学校）

年度	学校名	むし歯ゼロ率	処置完了率	合計
令和元年度	A小	71.1	20.4	91.5
	B小	37.0	50.0	87.0
	C小	49.4	34.3	83.6
	D小	41.6	14.1	55.8
	E小	53.6	18.7	72.3
	F小	48.1	14.7	62.7
	G小	61.4	15.2	76.5
	H小	40.6	18.8	59.4
	I小	46.1	35.1	81.2

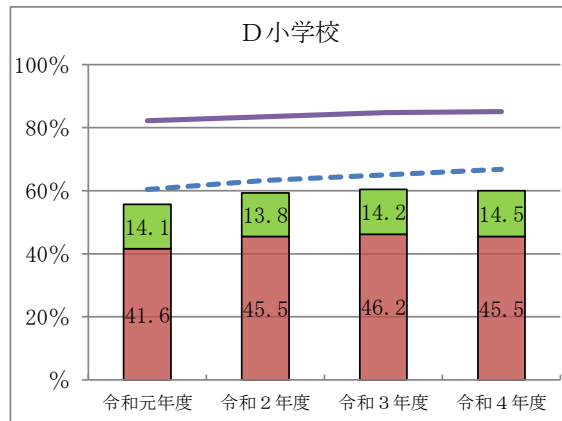
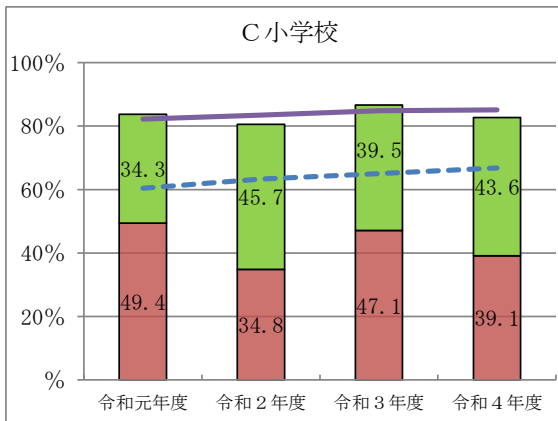
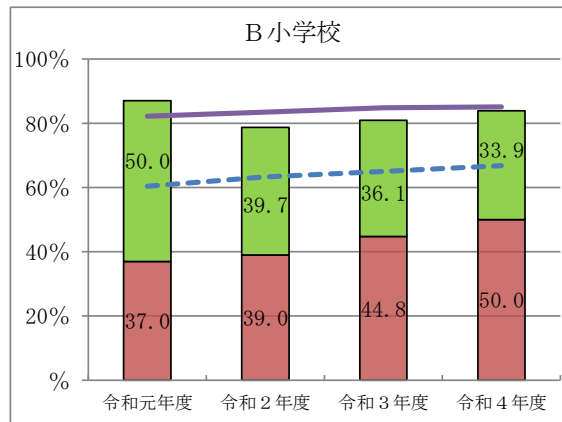
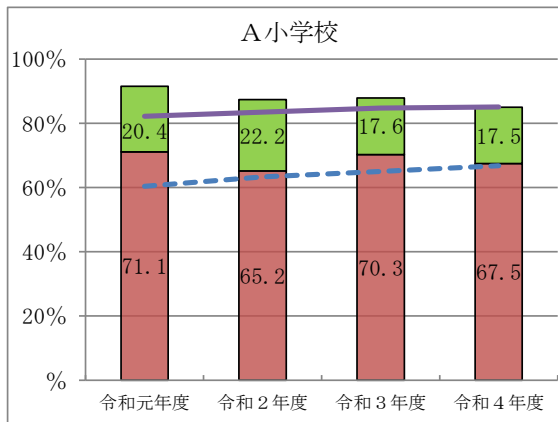
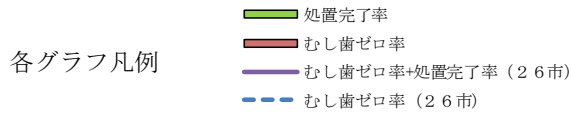
年度	学校名	むし歯ゼロ率	処置完了率	合計
令和2年度	A小	65.2	22.2	87.4
	B小	39.0	39.7	78.7
	C小	34.8	45.7	80.5
	D小	45.5	13.8	59.4
	E小	48.7	23.8	72.5
	F小	51.6	14.2	65.8
	G小	61.6	2.3	63.9
	H小	43.7	23.4	67.2
	I小	55.4	30.9	86.4

年度	学校名	むし歯ゼロ率	処置完了率	合計
令和3年度	A小	70.3	17.6	87.9
	B小	44.8	36.1	80.9
	C小	47.1	39.5	86.5
	D小	46.2	14.2	60.4
	E小	50.8	22.1	73.0
	F小	50.2	16.5	66.8
	G小	59.5	6.5	66.0
	H小	36.4	33.9	70.3
	I小	64.4	22.6	87.0

年度	学校名	むし歯ゼロ率	処置完了率	合計
令和4年度	A小	67.5	17.5	85.0
	B小	50.0	33.9	83.9
	C小	39.1	43.6	82.7
	D小	45.5	14.5	59.9
	E小	63.4	17.2	80.6
	F小	50.8	17.8	68.6
	G小	60.9	3.6	64.4
	H小	46.8	25.3	72.1
	I小	73.7	15.1	88.8

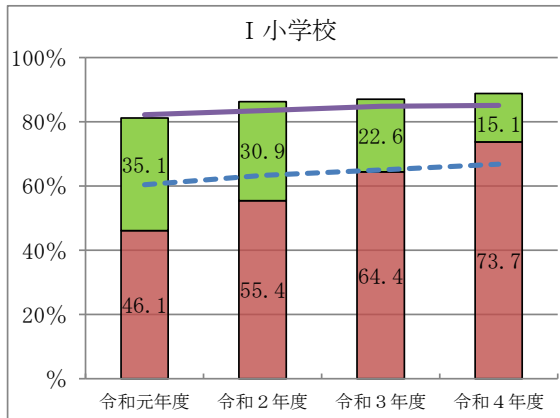
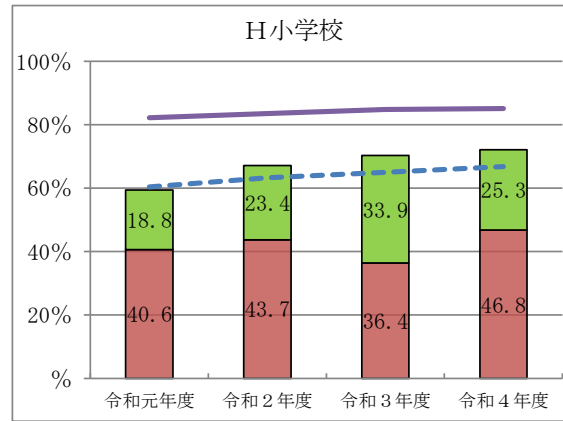
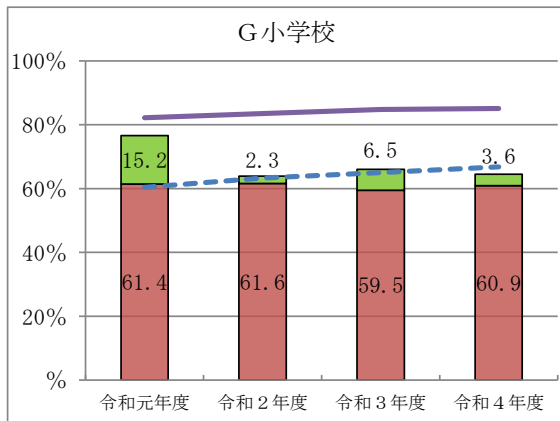
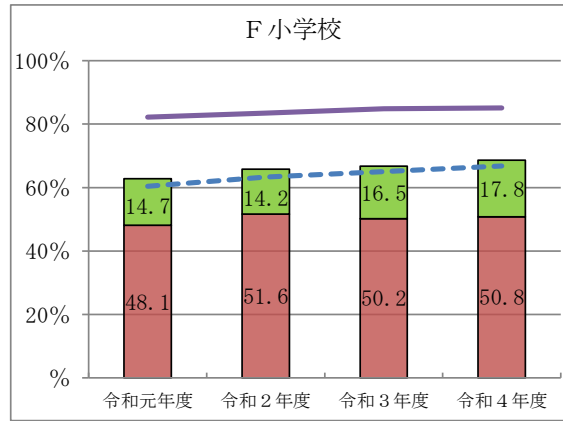
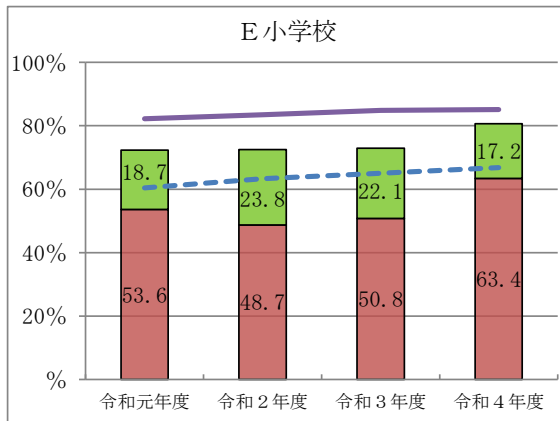
※ 「むし歯ゼロ率」とは、健診時における「完全むし歯ゼロ者」の割合をいう。

※ 数値は小数点第二位を四捨五入。



各グラフ凡例

- 処置完了率
- むし歯ゼロ率
- むし歯ゼロ率+処置完了率 (26市)
- - - むし歯ゼロ率 (26市)



定期健診（歯科）における学校別むし歯率の推移（中学校）

年度	学校名	むし歯ゼロ率	処置完了率	合計
令和元年度	A中	58.0	25.4	83.3
	B中	44.6	21.6	66.2
	C中	50.0	31.1	81.1
	D中	40.9	47.2	88.1
	E中	58.2	27.8	86.0

年度	学校名	むし歯ゼロ率	処置完了率	合計
令和2年度	A中	59.4	27.2	86.6
	B中	53.3	18.5	71.8
	C中	51.7	19.3	71.0
	D中	61.3	31.9	93.2
	E中	65.0	20.4	85.4

年度	学校名	むし歯ゼロ率	処置完了率	合計
令和3年度	A中	61.3	24.9	86.2
	B中	57.4	9.3	66.7
	C中	42.5	17.3	59.8
	D中	63.2	31.3	94.5
	E中	62.4	22.5	84.9

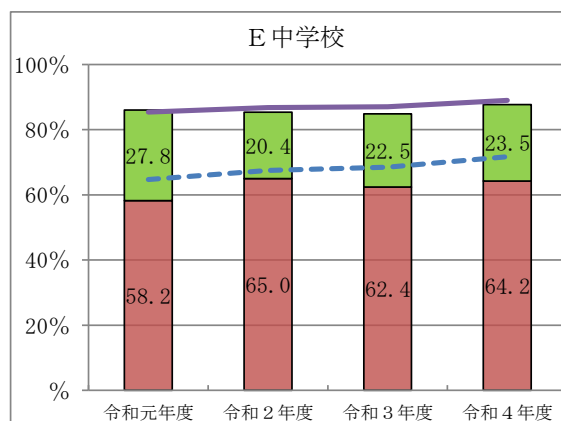
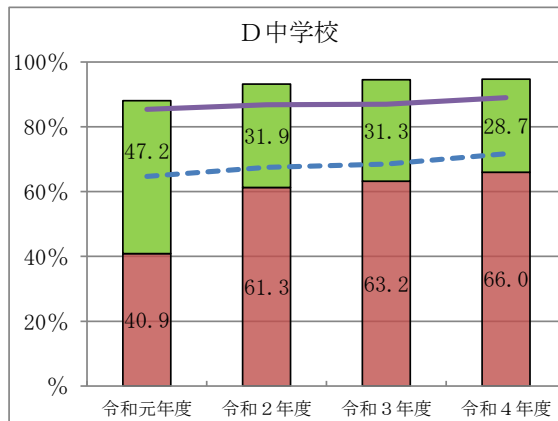
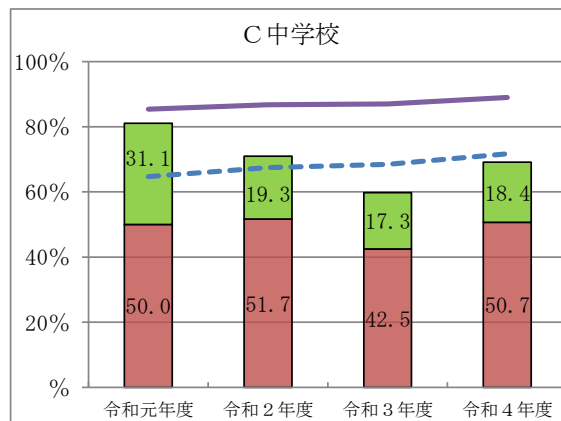
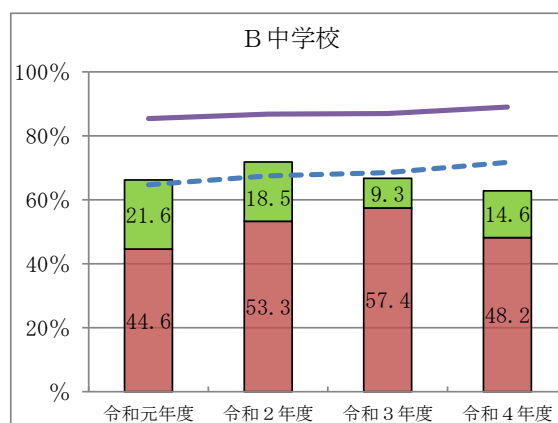
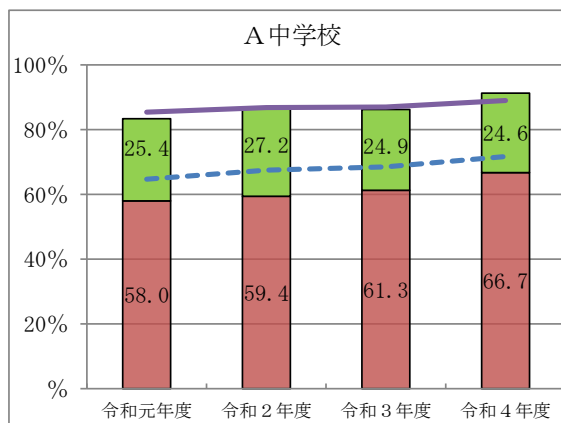
年度	学校名	むし歯ゼロ率	処置完了率	合計
令和4年度	A中	66.7	24.6	91.3
	B中	48.2	14.6	62.8
	C中	50.7	18.4	69.1
	D中	66.0	28.7	94.7
	E中	64.2	23.5	87.7

※ 「むし歯ゼロ率」とは、健診時における「完全むし歯ゼロ者」の割合をいう。

※ 数値は小数点第二位を四捨五入。

各グラフ凡例

- 処置完了率
- むし歯ゼロ率
- むし歯ゼロ率+処置完了率（26市）
- - - むし歯ゼロ率（26市）



武蔵村山市のむし歯のある1歳6か月児・2歳児・3歳児の割合

● 1歳6か月児健康診査時

年度	対象者数	受診者数	むし歯がある子の人数	割合	都平均
平成29年度	558人	528人	10人	1.9%	1.1%
平成30年度	543人	517人	8人	1.5%	0.9%
令和元年度	529人	499人	5人	1.0%	0.8%
令和2年度	558人	513人	12人	2.3%	0.8%
令和3年度	503人	493人	2人	0.4%	0.6%
令和4年度	460人	428人	6人	1.4%	0.5%

出典：各年度の「東京の歯科保健－東京都歯科保健医療関係資料集－」（東京都保健医療局）より

● 2歳児歯科健康診査時（本市独自事業）

年度	対象者数	受診者数	むし歯がある子の人数	割合	都平均
平成29年度	570人	473人	22人	4.7%	—
平成30年度	569人	465人	16人	3.4%	—
令和元年度	501人	435人	20人	4.6%	—
令和2年度	612人	438人	13人	3.0%	—
令和3年度	489人	404人	14人	3.5%	—
令和4年度	488人	426人	8人	1.9%	—

● 3歳児健康診査時

年度	対象者数	受診者数	むし歯がある子の人数	割合	都平均
平成29年度	617人	556人	75人	13.5%	9.4%
平成30年度	605人	570人	83人	14.6%	8.2%
令和元年度	552人	514人	54人	10.5%	7.6%
令和2年度	518人	515人	70人	13.6%	7.2%
令和3年度	656人	626人	71人	11.3%	6.1%
令和4年度	529人	515人	44人	8.5%	5.0%

出典：各年度の「東京の歯科保健－東京都歯科保健医療関係資料集－」（東京都保健医療局）より

アンケート概要

対象者：市内の小・中学校に在籍している児童・生徒の保護者

回答期間：令和5年7月10日から7月28日まで

回答方法：電子（オンライン）による回答

アンケート回答人数

	回答人数	在籍者数	回答率
小学校低学年（1～3年生）	441人	1813人	24.32%
小学校高学年（4～6年生）	338人	1950人	17.33%
中学校	266人	2001人	13.29%
合計	1045人	5764人	18.13%

※在籍者数は、令和5年7月31日時点

番号	アンケート項目	選択肢
	お子様の通っている学校名、学年を教えてください。	学校名、学年
1	お子様は、いつ歯を磨きますか。	朝、昼、夜、その他（ ）
2	お子様の歯磨きの頻度はどのくらいですか。	毎日、ほとんど毎日、時々、1週間に1回、その他（ ）
3	お子様は、歯磨き粉を使用していますか。	使用している、使用していない、その他（ ）
4	お子様は、甘い飲み物を摂取しますか。	毎日飲む、時々飲む、あまり飲まない、飲まない、その他（ ）
5	お子様は、甘いお菓子を摂取しますか。	毎日食べる、時々食べる、あまり食べない、食べない、その他（ ）
6	お子様は、歯科医院へはどんなときに行きますか。	歯科健診でお知らせをもらった時 歯が痛くなったとき 定期的に行く、その他（ ）
7	お子様の歯に、むし歯ができたと言われたらどうしますか。	痛くなければ歯科医院に行かない すぐに歯科医院に行く その他（ ）
8	お子様に、治療していないむし歯ありますか。	有、無
9	保護者様は口や歯の健康に関心がありますか。	関心ある、関心ない、その他（ ）
10	保護者様によるお子様の歯磨き仕上げを行っていますか。	行っている、行っていない、その他（ ）
11	保護者様が、デンタルフロスや歯間ブラシ等を使用し、お子様の歯間部の清掃を行っていますか。	行っている、行っていない、その他（ ）

「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」 応募状況

◎主催 東京都学校歯科医師会 (平成26年度から東京都歯科医師会から移管されました。)

		平成10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
小学校	参加校数	3	3	4	2	3	3	5	3	3
	作品数	6	40	204	55	24	53	86	21	6
中学校	参加校数	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	作品数	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	参加校数	6	3	4	2	3	3	5	3	3
	作品数	3	40	204	55	24	53	86	21	6

		平成19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
小学校	参加校数	1	4	5	2	4	7	6	6	5
	作品数	9	12	35	10	41	24	58	165	78
中学校	参加校数	—	1	2	1	1	0	3	3	2
	作品数	—	4	2	1	5	0	8	11	7
合計	参加校数	1	5	7	3	5	7	9	9	7
	作品数	9	16	37	11	46	24	66	176	85

		平成28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
小学校	参加校数	6	6	4	5	5	3	3
	作品数	70	67	21	23	35	16	7
中学校	参加校数	2	3	2	2	4	3	2
	作品数	3	45	54	51	61	7	4
合計	参加校数	8	9	6	7	9	6	5
	作品数	73	112	75	74	96	23	11

※ 資料提供：武蔵村山市歯科医師会

※ 平成26年度から「歯の衛生週間ポスターコンクール」から「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」に名称変更。

武蔵村山市第四次学齡期における歯の
健康づくり推進プラン
～むし歯ゼロプラン～
(令和6年度～令和10年度)

発行年月／令和6年3月

発行／武蔵村山市教育委員会

編集／武蔵村山市教育部教育総務課

〒208-8501

武蔵村山市本町一丁目1番地の1

TEL 042(565)1111(代表)



武蔵村山市